



…心当たりがある時に  
どこに相談や  
受診をすれば  
いいの？

家族のことを思い出せない  
物忘れがひどい…認知症？  
よく通る道で迷ってしまう



一人で悩まず、お気軽にご相談ください。  
センターでは次のようなサービスを行っています。

認知症に関する  
**専門医療  
相談**

**鑑別診断**  
(疾患の原因特定)  
と**初期対応**

身体合併症や  
周辺症状の  
**初期診断・  
治療**

医療・福祉  
スタッフへの  
**研修**

認知症に関する  
相談専用窓口

**047-488-2071**

(受付時間)  
9:00 ~ 16:00  
月~金

Eメール: [ninchi-yachiyo@harmonic hearts.or.jp](mailto:ninchi-yachiyo@harmonic hearts.or.jp)

医療法人社団 心代会  
八千代病院

**認知症疾患医療センター** ※

※認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう支援を行うために、都道府県・政令指定都市が国の定める設置基準を審査し、厚生労働大臣に届出を行った上で指定する病院に設置されるセンターです。

当病院は、地域における認知症の専門医療機関として、認知症早期発見、診断・治療、医療と介護の連携強化を図ることを目的に、平成26年10月1日から、認知症疾患医療センターを開設しました。認知症疾患医療センターでは、以下の業務を行っています。お困りの事がありましたら、お気軽にご利用ください。

## 認知症に関する専門医療相談

本人、家族、関係機関(地域包括支援センター、市町村、保健センター、福祉機関など)からの認知症に関する医療相談に応じ、状況に応じて適切な医療機関の紹介を行います。



## 鑑別診断(疾患の原因特定)と初期対応

鑑別診断や治療方針の選定が必要な方には、適切な医療機関をご紹介する他、当院にて専門の医師の診察を行う場合もあります。

## 身体合併症や周辺症状の初期診断・治療

認知症の症状に加え、肺炎や骨折、行動障害や精神症状(周辺症状)を呈している方に、診断の上、適切な治療を行い、必要であれば入院治療を行います。合併症についても同様に対応します。

## 医療・福祉スタッフへの研修

医師・看護師・看護職員・ケアマネジャーなど地域の保健医療福祉関係者への研修等を行うとともに、認知症の進行予防から地域生活維持まで、必要な医療を提供できる連携体制の構築を図ります。



副院長・  
認知症疾患医療センター長

三浦 伸義

年をとると物忘れが多くなり「顔は出るけど名前が…」、「何をしにここに来たの?」と…これは自然の老化現象で多くは生活上の支障はありません。ところが、病気によって、脳が萎縮したり血管が障害されると、体験や出来事の記憶の全てを失ってしまいます。忘れてのことすら忘れてしまいます。このように脳疾患によって生活が困難となった状態を「認知症」と呼びます。

「認知症」はたくさんの疾患の総称です。神経、脳、外傷、内分泌、栄養系など幅広く原因があります。レーガン大統領や、サッチャー首相がかかった「アルツハイマー病」も「認知症」の一つの疾患です。「認知症」=「アルツハイマー病」ではありませんが、「認知症」全体の6~7割を占めています。

さて「認知症」の中には、治療回復が可能な疾患があります。甲状腺機能低下症、慢性硬膜下血腫、ビタミン欠乏症などです。この治療可能な「認知症」を見落とさないために、初診時に検査などを行い、「認知症」などの疾患なのかを鑑別する必要があります。

最近首都圏や関西圏の20歳以上の2千人を対象とした「認知症」に関する意識調査の結果、3割以上の方が、身近な家族・友人が「認知症」でないかと気づいていることが判りました。ところが、誰にも相談できない人が、なんと6割近くもいたのです。また、相談相手の多くが家族や知人で、医療機関に相談した人はわずかでした。家族に相談しても「歳のせい」と言われ、「認知症」の発見が遅れがちです。治療

可能な「認知症」の場合もあるので、やはり医療機関を受診することをお勧めします。

まずは、かかりつけ医や私ども認知症疾患医療センターに相談してみてください。お待ちしております。

医療法人社団 心和我  
八千代病院

〒276-0021 千葉県八千代市下高野549  
TEL 047-488-1511(代)

認知症疾患医療センター

TEL 047-488-2071(直通) FAX 047-488-7162



〈当院までのアクセス〉

勝田台駅より

・無料送迎バス 約10分  
※詳細はお問い合わせください。

・タクシー 約10分

